


提出 順番	No. 5	令和 2 年 11 月 25 日 午前・(午後) 3 時 50 分受領
----------	----------	--

令和 2 年 11 月 25 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 明野ヶ丘公園再整備について	<p>明野ヶ丘公園は幕別市街地から南東方向約2.5kmに位置する公園であり、通称「諏訪(すわ)山」と呼ばれていた山林の一部を購入し、開基80年記念事業として記念林植樹を行ったのが公園造成の始まりであり、平成8年には開基100年を記念して造られた展望施設「ピラ・リ」が誕生し、今年で44年目になります。その間、多くの町民が足を運び、子どもたちが大きな歓声を上げてきました。</p> <p>しかしながら時代と共に老朽化が進み今回再整備されることとなり、より多くの町民が親しめる施設になることを楽しみにしています。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">① 再整備計画をピラ・リ周辺の7haに限定した理由は。② 明野ヶ丘公園開設当初のワークショップに参加された方々にも再整備計画への参画や提言を得る考えは。③ 今回のワークショップでは、計画策定に意見を反映するには期間が短すぎるのではないのか。④ 再整備計画区域外の傾斜広場(スキー場)の過去5年間の営業日数、利用者数、積雪の状況、今後の集客方法は。

2 子どもの弱視対策
について

現在、斜視や強い遠視によって視力が育たない「弱視」の子どもは50人に1人の割合で見られます。外見からはよく分からず発見するのは難しいですが、3歳児健診で発見し治療を行えば、小学校に入る前に視力の改善が期待できます。

しかし、現在の3歳児健診における視力検査は「絵指標」と呼ばれる目の検査を家庭で事前に行っていますが、子どもが検査を嫌がるなどして異常を見逃したり、弱視と近視の違いを理解できていない保護者も少なくないといえます。

厚生労働省は、2017年、各自治体に3歳児健診時の視力検査の徹底を促し「健診時に異常を見逃してしまうと治療が遅れ、十分な視力が得られない場合がある」ということを保護者に周知、啓発することが重要であると通知しています。

そこで以下の点について伺います。

- ① 本町の3歳児健診での視力検査の現状と課題は。
- ② 保護者への屈折異常検査（弱視）の重要性についての周知、啓発はどのように実施されているのか。
- ③ 保育所において、3歳児健診にあわせて前もって視力検査を実施し、2段階でチェックする体制も有効と考えるが見解は。
- ④ 今後3歳児健診の視力検査において、スポットビジョンスクリーナーを導入していく考えは。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。